

【公開講演会】

『戦争やテロから人類の文化遺産をいかにして守るべきか』

～第8代ユネスコ事務局長、松浦晃一郎先生による講演～

名古屋学院大学国際文化学部では、6月8日(土)13時30分～15時30分、名古屋キャンパスたいほう言館(ことばかん)コミュニティ・リンクにて、公開講演会を開催します。

当日は、第8代ユネスコ事務局長を務め、2016年度から2018年度まで名古屋学院大学特任教授を務められた松浦 晃一郎先生による講演『戦争やテロから人類の文化遺産をいかにして守るべきか』を中心に、国際文化学部教授・木村 光伸による『途上国の自然遺産保全努力を我々はどのように支えられるだろうか』を講演いたします。一般の方も入場無料・事前予約不要でご参加になれます。

●講演内容について

現在の日本はひとまず平和ですが、世界の国の中には戦争、内戦、テロ、宗教対立などに巻き込まれている国が少なからずあります。内戦とテロのために国内のすべての世界遺産が危機遺産になってしまったシリアのケースやテロ行為のためにバーミヤンの遺跡が破壊されたアフガニスタン、又は、内戦のため世界遺産の保護保全について講演をいただきます。